

スターゼンミートプロセッサー（株）からの贈呈式

7月27日(月)、スターゼンミートプロセッサー（株）からの支援策の贈呈式が行われました。式では、西田専務から部活動の強化部に指定されているバレー部・陸上部や、畜産部（和牛甲子園での支援）、食品技術科（H A C C P 取得の学習支援）への支援策の発表、三好常務からバレー部と陸上部、学校に対して肉と寄附金の贈呈が行われ、前田校長、バレー部、陸上部、農業クラブの生徒代表がそれぞれお礼や抱負を述べるとともに、学校から感謝状と生徒が製造した加工食品を贈呈し、最後に出席者全員で記念撮影を行いました。

この産学連携事業は、阿久根市の地域活性化と阿久根の将来を担う若者の育成を目的としたもので、地域にある産・官・学連携による、“地域との協働による高等学校教育改革推進事業”の一環として取り組まれるものです。地域創生と Society5.0 の社会情勢の中で、鶴翔高校は地域の期待に応えられる人材の育成を目指します！



熊本豪雨の被災者を支援 地域おこし協力隊と協力して「チャリティマルシェ」開催

8月2日(土)、(株)まちの灯台阿久根でチャリティマルシェが開催されました。これは、第15期生徒会長の遠矢あかりさんと第16期生徒会長の田中美咲さんが、(株)まちの灯台阿久根で活動する地域おこし協力隊の方々と企画し、食農研究部・地域文化研究同好会とともに開催したバザーです。

事前の広告チラシの作成、バザーの商品集め、陳列や値札付けといった準備から当日の販売まで、生徒たちで行いました。当日は100人を超えるお客さまに来ていただき、売上金全額と募金を合わせて142,100円が集まり、全額を被災地に寄附しました。総合学科2年の田中美咲さん（米ノ津中出身）は「新型コロナウイルス感染症もあり、被災地で直接支援することはできませんが、少しでも被災された方々のお役に立つことができればと思います。また、地域の方々と直接お話しする機会にもなり、よい経験となりました」と語ってくれました。



「旨鹿醬（うんまかしょう）」新発売！

食品技術科と食農研究部が4年間かけて開発してきた鹿肉を使ったしょうゆが完成し、8月23日に道の駅阿久根の販売会で初のお披露目となりました。

地元の方々に協力していただきながら、製造法の確立や利用法の検討、販路開拓に向けたネーミングやラベルデザインなどに取り組んできました。検討を重ね「旨鹿醬（うんまかしょう）」という名前で販売する事になりました。ラベルデザインや商品名が決定し、最後に販売促進用のぼりと活用レシピを完成させて初の販売に臨みました。「旨鹿醬」の初めての販売は大好評で、試食しておいしいと言ってくださり、買ってくださる方が多かったです。今回は麴が異なる3種類を販売しましたが、今後は、煎り麦麴仕込みのものだけを製造していく予定です。全国的にも、とても珍しい鹿肉を使った調味料として鶴翔高校発の「旨鹿醬」を有名にして、阿久根市のPRや地域の活性化に繋がるようこれからも研究を重ねていきたいです。



挑戦・感動

そして 愛

Since 2005



鶴翔高校

公式ホームページ

